



よしぶえ

○編集
淀川河川公園広報委員会
○事務局
〒570 守口市外島町4-18
☎06-994-0006
(財) 河川環境管理財団

水と緑、文化とスポーツを楽しむ巨大レクリエーションゾーン。

枚方地区OPENまぢか！

'97年夏に一部オープンする淀川河川公園・枚方地区は、度々『よしぶえ』などでお知らせした通り。近畿圏の人々が日帰りで利用できる、新時代の、これまでにない水辺公園として着々と整備が進められています。長大な淀川河川公園の中心拠点として位置づけられた同地区は、「水」「文化」「緑」「地域」の4つのテーマで空間構成され、枚方や周辺の歴史や文化を大切にしながら、スポーツや文化イベント、親水性豊かなレクリエーションゾーンとして楽しさをパワーアップ。新時代の「信頼と文化をはぐくむ淀川」をめざしています。

一大パノラマを見せる 「緑の緩傾斜堤防」。

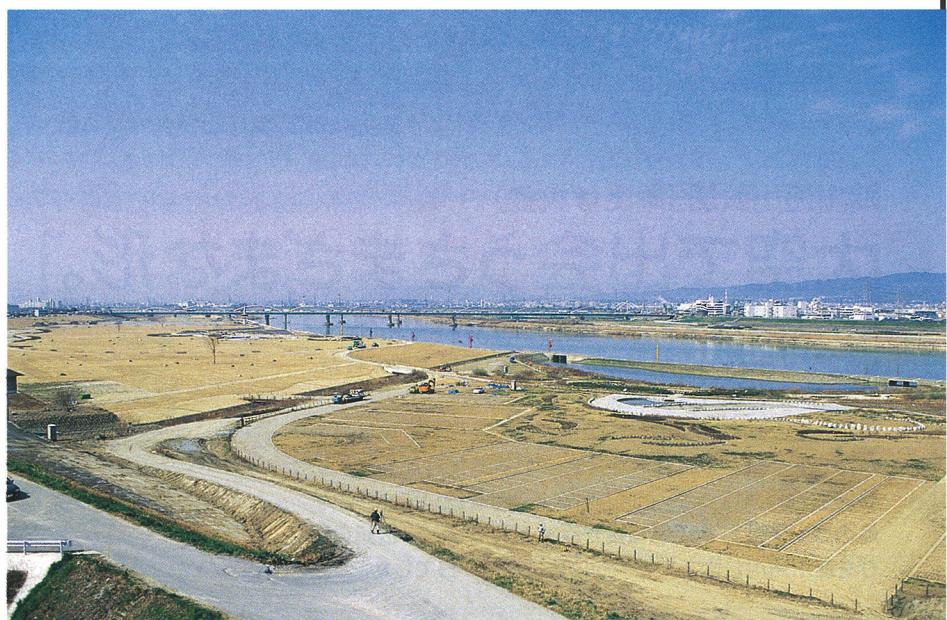
枚方地区の特長のひとつは、公園全体と河面を見下ろす、なだらかで広大な丘の斜面を思わせる、「緑の緩傾斜堤防」です。また、安らぎや潤いを与えてくれる「花緑の散歩道」、「のんびり広場」や「噴水広場」も自然空間を満喫させてくれます。



傾斜のゆるい堤防法面

水にふれる滝や池、見る楽しさ 野外ステージ。

淀川の流れに沿う「水辺のプロムナード」。舟着場の階段は水面までゅつたりと下がり、川の水をひき込んだ「多自然池」や琵琶湖を模した「淀川流域自然園」につながる「淀川の大滝」など、親水性あふれる施設がいっぱい。ゆるやかで大きな半円状の「アクアシアター」の客席前の川は、9月のなみはや国体のカヌー競技場に決定しています。



淀川工事事務所から見た枚方地区



水辺のプロムナード



多自然池

地域に本格的 スタジアム誕生。 地方大会にも。

今後の整備計画として、地域のみなさんが楽しく使える「淀川スタジアム」や「テニスコート」など、スポーツの地方大会も開けるように、駐車場スペースも広々とっています。



アクアシアター

第2回淀川河川公園リレーマラソン 声援をバックに各チーム力走

2月23日（日曜日）、淀川河川公園太間地区で、「第2回淀川リレーマラソン」が行なわれました。今回の開催日は、前日の22日（土曜日）でしたが、大阪地方にはめずらしい雪。会場である太間地区は白一色になり、コースはアイスバン状態で急きよ中止。主催者側はすでに参加申し込みのあった203の全チームに至急連絡し、翌23日（日曜日）に開催の旨を伝えました。当日はうって変わって、朝から春を思わせる上天気。参加者は少し減りましたが、約2,000人がテント村に続々と集結、準備体操の後、午前11時に各チームの第一走者が、号砲とともに元気にスタートしました。1周2kmの周回コースで、全42.195kmを4人～10人でリレー、完走制限時間4時間のルールは第1回と同じ。女性アナの白熱した実況中継のもと、ピエロやサルの仮装ランナーから、本格派の陸上チーム、家族チーム、職場・友人チームの応援合戦もにぎやかに、午後3時の完走時間を過ぎても、アンカーに拍手と声援がいつまでも続いた楽しい一日でした。



リレーマラソンのスタート

■総合部門

順位	時間	チーム名
1位	02:17:15	貝塚南高校陸上部駆伝チームB (8名)
2位	02:22:34	AINA (あいな) A.C. (6名)
3位	02:24:02	とびっきり！パンカラ (5名)

■部門別

部門	時間	チーム名
女子	02:54:14	富田林第三中学校 (10名)
男女混合	02:26:05	帝塚山高校陸上部 (10名)
学生ジュニア	02:31:44	富田林第三中学校 (7名)
ファミリー	02:45:42	えびはら！陽気にゆこう (4名)
職場仲間	02:24:02	とびっきり！パンカラ (5名)
平均年齢40歳以上	02:44:17	OLP兵庫 (5名)



雪景色になった太間地区



●かやの兄弟204歳御親族チーム（東京）
「第1回も参加しました。東京や山口や茨城、愛媛で住んでいる兄弟家族が、年に1回、このリレーマラソンで集まる事にしています。昨年はファミリー部門4位。今年は6人で参加。その上を狙いマス」（今回は見事2位）



●帝塚山高校陸上部J・P・ウィリアムズ（奈良）
「陸上部の顧問です。来日10年。このイベントいいデスネ。外人日本人関係なく、みんなランナーです、男8人、女2人で参加しました。混合の部で3位以内が目標です」（同チームは混合1位・総合4位入賞）



●みよちゃんと愉快な仲間たち（大阪）
「ピエロ姿で交代で衣裳をつけて5人で走っています。昨年はハッピ姿で走りました。トシは聞かないで。職場もナシヨ！」

淀川河川公園（凧上げ大会）

大空で出会うさまざまな形。

大空で出会うさまざまな形。

3月2日（日曜日）、恒例の淀川河川公園凧上げ大会が、太間地区で行なわれました。先着の500名の人たちに和凧のプレゼント。10時開会の後、和凧の手作り教室や凧の病院が開かれ、子供連れの家族が多数参加しました。午後2回行なわれた大凧「淀川の凧」上げに続いて、手作り凧のコンテストで15名に賞が手渡されるなど、伝統の遊びを淀川河川公園でぎやかに過ごした一日でした。



風にめぐまれた「淀川の凧」

平成9年前半 イベント案内

【3月9日（日）～5月11日（日）】

- 春季野球大会（海老江地区他）

【4月1日（火）～10日（木）】

- さくら祭（背割堤地区）

【5月10日（土）・11日（日）】

- 春の緑化祭 植木市（鳥飼上地区）

【6月】

- ゲートボール大会（仁和寺野草地地区）
- ラブ遊・淀川「おかえりなさいサツキマス」（未定）

【7月1日（火）～31日（木）】

- 川愛護月間（淀川全川）

【7月】

- ラブ遊・淀川「淀川わんどクリーン大作戦」（城北わんど）

【8月】

- 淀川の自然を楽しむ会（未定）

【9月～10月】

- 秋季野球大会（海老江地区他）

淀川河川公園案内

野球場編

淀川河川公園の野球場施設は、地域の軟式野球ファンの練習や試合に存分に利用されています。3月～5月の春季野球大会、9月～10月の秋季野球大会も年々参加チームが増えています。施設の使用申し込みや、大会参加のお問い合わせは、下記の各サービスセンターへ。



人気の高い野球場

地区名	面数	交通
①大山崎地区	野球場2	阪急電車大山崎駅またはJR山崎駅より京阪バス新山崎橋下車徒歩10分。
②島本地区	野球場1／少年野球場1	阪急電車大山崎駅下車徒歩10分、またはJR山崎駅下車徒歩15分。阪急電車水無瀬駅より阪急バスで島本下車徒歩5分。
③大塚地区	野球場2	京阪電車枚方市駅、または阪急電車高槻市駅より京阪バス枚方大橋北詰下車徒歩7分。
④三島江地区	野球場2	京阪電車枚方市駅より京阪バス（茨木行）で唐崎で乗り換える（柱本団地行）三島江下車徒歩10分。阪急電車茨木市駅より阪急バス（三島江行）で三島江下車徒歩10分。
⑤鳥飼上地区	野球場3	JR千里丘、吹田駅より阪急バスで上鳥飼下車または阪急電車茨木市駅より阪急バス・近鉄バスで中鳥飼下車徒歩10分。
⑥木屋元町地区	野球場2	京阪電車寝屋川市駅より京阪バス（太間公園行）で太間公園下車徒歩5分。
⑦太間地区	野球場1	京阪電車寝屋川市駅より京阪バス（太間公園行）で太間公園下車徒歩5分。
⑧佐太西地区	野球場2／少年野球場2	京阪電車寝屋川市駅より京阪バス（点野経由守口市駅行）または京阪電車守口市駅より京阪バス（八番、点野経由寝屋川市駅行）で仁和寺団地下車徒歩5分。
⑨大日地区	野球場2	京阪電車寝屋川市駅より京阪バス（点野経由守口市駅行）または京阪電車守口市駅より京阪バス（八番、点野経由寝屋川市駅行）で佐太小前下車徒歩5分。
⑩八雲地区	少年野球場1	京阪電車守口市駅（西口）または地下鉄（谷町線）守口駅より京阪バス八番下車徒歩7分。
⑪太子橋地区	野球場2／少年野球場1	大阪市バス太子橋または地下鉄（谷町線）太子橋今市駅下車徒歩10分。
⑫毛馬地区	野球場2	大阪市バス毛馬町二丁目下車徒歩10分。
⑬西中島地区	野球場3	阪急電車南方駅または地下鉄（御堂筋線）西中島南方駅下車徒歩7分。または大阪市バス木川東二丁目下車徒歩5分。
⑭海老江地区	野球場5／少年野球場1	阪神電車野田駅下車徒歩10分、または大阪市バス、阪神バスで上海老江下車徒歩7分。

■お問い合わせ・お申込みは

*受付時間／9:00～12:00 13:00～16:30
*休日／毎週月曜日および年末年始（12/29～1/4）

①～⑤の地区	鳥飼サービスセンター	〒566摂津市鳥飼下1-8-1 TEL0726-54-9800
⑥～⑦の地区	太間サービスセンター	〒572寝屋川市太間町7-31 TEL0720-38-0888
⑧～⑯の地区	守口サービスセンター	〒570守口市外島町4-18 TEL06-993-0684



淀川歴史散歩 第1回

■橋本の渡し

橋本の渡しは、谷崎潤一郎の小説の代表作の一つ、『蘆刈』に出てくる淀川の風物としてもよく知られています。淀川の右岸山崎（淀川河川公園島本地区付近）と、左岸の橋本を結ぶ船で、この渡しの特徴は、川の中洲を中継点にして、一度船を乗り換えて対岸に渡り着くことです。昭和30年代には、背丈より高い葭の茂みの中の道を通って船を利用した人がまだ多くいたそうです。



かつて、渡し場があった島本地区

■橋本の宿

橋本の宿は、昔の色街。徳川時代の中頃から、全国的に有名だったようです。大阪が生んだ文豪・井原西鶴の名作『好色一代男』の巻三の中で、主人公の世之介が、淀川べりの橋本の宿あたりを、唄で流す情景が描かれています。紅がら格子と飾り窓、広いあがりがまちの張り店という家のつくりはそのままでも、色里の夢は今は昔。静まりかえった家並みが往時をしのばせています。



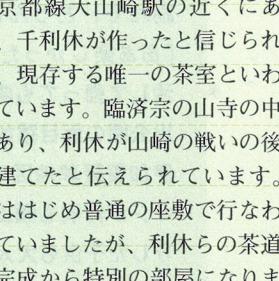
橋本に残る古い道標

■妙喜庵（待庵）

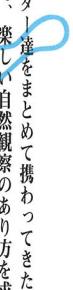
妙喜庵待庵は、JR東海道線山崎駅と阪急京都線大山崎駅の近くにある、千利休が作ったと信じられる、現存する唯一の茶室といわれています。臨済宗の山寺の中にあり、利休が山崎の戦いの後に建てたと伝えられています。茶ははじめ普通の座敷で行なわれていましたが、利休らの茶道の完成から特別の部屋になりました。待庵は2階台目といわれ、荒壁に囲まれた極限までりつめた狭い空間を鋭い造形手法で作られており、国宝になっています。

記：滝本明

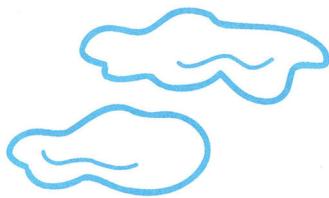
『橋本の渡し』とその周辺



橋本に残る古い道標



淀川河川公園と私



子供と自然観察研究会

思いがけなく暖かだった今年1月の伊加賀野草地区、計画中の観察会現地下見のために歩き回った。足下ではもう、何種類かの芽生えが見えている。先ほどから、ヨシやセイタカアワダチソウの生える草むらで「チチ、チチ」と、呟くような小鳥の声が気になっていた。草むらを覗いてみたところ、果たして、なんと10羽以上のメジロがヨシからヨシへ忙しげに飛び回っているではないか。緑がかった羽毛と目のまわりの真っ白な輪。確かにメジロだ。環境が呼び寄せたのか、彼らが望んでやって来たのか、河川のありようにいかに変遷があっても、確かな自然の息吹を感じ、幸せなひと時を過ごすことができた。

淀川河川公園の誕生と共に生まれた自然観察会、それが「淀川の自然を楽しむ会」(かつてこの会は「淀川自然教室」と呼ばれていた)であるが、今年1月、第52回を迎えることができた。この会のおよそ18

年間の活躍場所は、鳥飼野草地区・伊加賀野草地区・大淀野草地区・十三野草地区・背割り堤地区・出口野草地区など河川公園「野草地区」をほとんど縦なめにした。

しかし、どうしても足の便の良い地区に偏りがちになってしまったようだ。私を含めリーダーたちは18年間に沢山の収穫を得ることができた。

大淀野草地区では、水辺に出てシジミとりに励んで、どろんこになったお母さんのいわく「ああ楽しかった。もう、子供がどんなに服を汚しても叱りませんよ。アハハ」と。河川公園の面目躍如たるところではないか。

伊加賀野草地区では、訪れた人々に驚いたか、キジが何羽も頭上を飛んで行く。羽音にびっくりした子供も大人も、ただただ口をあんぐり開

けて空を仰いでいた。かと思うと、5羽の雛を従えた親キジを先頭に、キジ一家の散歩に出会ったり。「河川公園」のイメージを越えた、自然との遭遇を幾つか経験することができた。

また、ヤナギの枝を利用してスプーンやしゃもじを作ったり、根元から伐り出してキノコの種菌を植えたり、クズの蔓で縄跳びをやってみたり。クズの根から葛粉を取り出す作業も楽しかった。そのほか、拾い上げれば誠にきりがない。

こんなに楽しい経験をものにしながら、「河川公園」の中では、淀川をさっぱり実感することができなかつたというのも事実である。それは、水に触れたり、ヨシや水辺の草などを材料にするという用意が公園には全くないからである。従って、得難い経験はいつも公園の外で手にするしかなかったと言わざるを得ないのが極めて残念だ。



今、社会で活躍しておられる多くの人たちの胸の中には、河原から水辺に下りて浅瀬に踏み入れた時の水の感触や、小石を拾い上げたり、小魚やえびなどを追っかけたことが、今以て確実に思い出の宝物であり、育んでもいるのだ、それはまさしく、淀川の恩恵である。そんな経験を子供たちにも味合わせてあげたいと切に願う。

淀川公園を核にした淀川河川敷への回帰を図ることはできないのだろうか、そうあってこそ、「母なる大河、淀川」を活かすことができるのだろうし、淀川はまだそうする力を充分蓄えているのである。

河川、それは人生と密着している。そういう意味で、「河川公園」がさらに成長していくのを心待ちにしている。

有馬忠雄

